

家庭学習の手引き

<1 年生>

目 標 低学年で、家庭学習の基本を身に付ける。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- 規則正しい学習習慣を身に付ける。
- よい姿勢で座り、正しく鉛筆を持って、正しく文字や数字を書く。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- ひらがな、カタカナ、漢字を正しく読む、書く、使う。
- たし算やひき算が正しくできる。
- 文章を正しく読む。



学習時間 10～20 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 学習の基本として「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「身の回りの整理整頓をする」「次の学習の準備をする」ことを大切に指導します。
- ◆ 何度も繰り返し「読む」「書く」「計算する」ことを大切にし、教科の基礎基本の定着を図ります。
- ◆ 「実際にやってみる、作ってみる」「具体物を操作する」などの体験的活動を通して学習を進めます。
- ◆ 自分の生活と結び付けて物事を考えさせます。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- テレビやゲームなど、学習の妨げになるものの電源は消す。
- 学習する場所の整理整頓をする。
- 学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- 保護者の方が、児童の傍らにいて、学習を見守り、学習習慣を身に付けさせる。
- 学校からのお便りや教師からの連絡などを、一緒に確認する。
- 時間割や学習用具(えんぴつ、消しゴム、)が適切か、一緒に学習の準備をする。
- 保護者と一緒に買い物に行く、掃除をする、食事の準備や片付けをするなどに取り組む機会を意図的に増やす。

1 年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

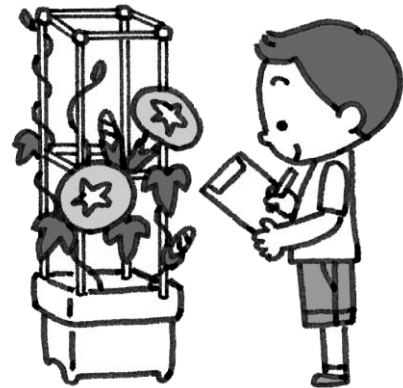
- 国語
- ・絵本の読み聞かせ(いろいろな種類の本)
 - ・ことばあそび(しりとり かると等)
 - ・日記をつける(一日を振り返って、保護者の方と交換日記等)。
 - ・身近な看板や駅名などを読む。 等

- 算数
- ・数を数える(2とび、5とび)。
 - ・お金の使い方から、位取り
 - ・具体物をつかって「あといくつで10?」
 - ・アナログ時計とデジタル時計を読む練習
 - ・身近な形(平面から立体へ)
 - ・長さくらべ 重さくらべ

- 生活科
- ・昆虫や動植物の観察をする。
 - ・家庭の中での役割・お手伝い
 - ・季節を感じる行事へのかかわり
 - ・公共でのマナーについて

- 体育
- ・固定施設(鉄棒や雲梯 登り棒など)を使った運動遊び
 - ・力試しの運動遊び(おんぶ 押し相撲など)
 - ・馬跳び 縄跳び
 - ・前転がり 後ろころがり
 - ・おにごっこ(ルールの確認)
 - ・水遊び

- その他
- ・日常生活の中でいろいろな経験をさせる。
 - ・自然の中で遊ぶ。
 - ・お家の方と一緒に料理をしたり、掃除したりする。
 - ・お手伝いをする。
 - ・あいさつをする。
 - ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。



家庭学習の手引き

<2 年生>

目 標 低学年で、家庭学習の基本を身に付ける。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- 規則正しい学習習慣を身に付ける。
- よい姿勢で座り、正しく鉛筆を持って、正しく文字や数字を書く。
- 先生や友達の話をよく聞く。
- 分からない時は先生に聞く。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- ひらがな、カタカナ、漢字を正しく読む、書く、使う。
- たし算やひき算、かけ算九九が正しくできる。
- 文章を正しく読む。
- 事実を正確に話す、書く。



学習時間 20～30 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 学習の基本として「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「身の回りの整理整頓をする」「次の学習の準備をする」ことを大切に指導します。
- ◆ 何度も繰り返し「読む」「書く」「計算する」ことを大切にし、教科の基礎基本の定着を図ります。
- ◆ 「実際にやってみる、作ってみる」「具体物を操作する」などの体験的活動を通して学習を進めます。
- ◆ 自分の生活と結び付けて物事を考えさせます。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- テレビやゲームなど、学習の妨げになるものの電源は消す。
- 学習する場所の整理整頓をする。
- 決まった時間に学習を始めさせる。
- 学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- 保護者の方が、児童の傍らにいて、学習を見守る。
- 学校からのお便りや教師からの連絡などを、一緒に確認する。
- 時間割や学習用具(えんぴつ、消しゴム、)が適切か、一緒に学習の準備をする。
- 買い物に行く、掃除をする、食事の準備や片付けをするなど、保護者と一緒に取り組む機会を意図的に増やす。

2 年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

- 国語
- ・親子で読書をして、感想などを話し合う。
 - ・既習漢字の反復練習など

- 算数
- ・既習済みの九九の反復練習
 - ・たし算とひき算のくり上がり、くり下がりのある計算練習
 - ・問題文に合うテープ図の作成
 - ・百マス計算など

- 生活
- ・昆虫や動植物の観察
 - ・家庭の中での役割・お手伝い
 - ・季節を感じる行事へのかかわり
 - ・公共のマナーについて

- 体育
- ・固定施設(鉄棒や雲梯 登り棒など)を使った運動遊び
 - ・力試しの運動遊び(おんぶ 押し相撲など)
 - ・馬跳び 縄跳び 長縄
 - ・様々なおにごっこ
 - ・水遊び

- その他
- ・日常生活の中でいろいろな経験をさせる。
 - ・自然の中で遊ぶ。
 - ・お家の方と一緒に料理をしたり、掃除したりする。
 - ・自由工作に取り組む。
 - ・お手伝いをする。
 - ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。



家庭学習の手引き

<3 年生>

目 標 中学年で、自らすすんで家庭学習をする習慣を身に付けよう。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- 先生や友達の話落ち着いて聞く。
- ていねいに文字や数字を書く。
- 見直し、書き直しをして、よりよくする。
- 学習に必要な持ち物を確認して、忘れない。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- 文字を正しく読む、書く、使う。
- たし算、ひき算、かけ算九九が正しくできる。
- わり算の基本ができる。
- 文中や話の中から、大切なことがらを読み取る、聞き取る。
- 事実をもとに、自分の考えを話す、書く。
- 分からないことは自分で調べてみる。



学習時間 30～40 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 分からないこと、不思議に思ったことは、自分で調べられるように、機会をつくります。
- ◆ 国語辞典の取り扱い方を学び、自分で調べる活動を学習の中に取り入れます。
- ◆ 今までの学習を基にして新たな課題の解決に取り組むため、今までの学習の復習を繰り返し行います。(漢字や計算など)
- ◆ 自分の考えや思いを、根拠を明確にして話す、書く機会をつくります。
- ◆ 学習に見通しをもたせ、課題解決に向けて計画的に取り組めるようにします。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- ☐ テレビを見る、ゲームをするなど、時間を決める。
- ☐ 学習環境を整える。(机の上や周りの整理整頓、用具の準備など)
- ☐ 決まった時間に学習を始めさせる。
- ☐ 学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- ☐ 家庭学習(宿題を含む)は時間内に終わられるように、集中して取り組ませる。
- ☐ 保護者は児童の傍らにいて学習の様子を見守り、取り組みを励ます、認める。
- ☐ 課題を終えたら、見直しや書き直しをさせる。
- ☐ 間違いに気付いた時は、すぐに言わずに、課題を終えてから(見直しの時)指摘する。
- ☐ 自分で時間割をそろえさせ、保護者は確認する。
- ☐ 朝、持ち物(教科書、宿題、学習用具など)の確認を自分でさせる。
- ☐ 自分で学習スタイルを確立できるように促す。(できない時こそ共に話し合い、自分から取り組めるよう励ます。到達できそうな目標を考え、できた時は褒める。)

3 年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

国語 ・一日の出来事について、家の人に話をする。または日記を書く。

(簡単な文章にまとめる。)

- ・学習した漢字を復習する。
- ・気に入った本をすすんで読む。

社会 ・八王子市内を家族と一緒にめぐる。

- ・家族と一緒に買い物をして、買い物で大切なことを教える。

算数 ・九九を唱える。

- ・百マス計算をする。
- ・定規や三角定規、コンパスを使って、様々な図をかく。
- ・様々な方法で解答に導けるようにする。



理科 ・家族と一緒に植物(種から、球根から)を育てる。

- ・家族と一緒に育てた野菜を食べる。
- ・季節ごとに昆虫を採集して、飼育したり観察したりする。
- ・学習を振り返って、おもちゃ作りをする。

その他 ・生活の中で見つけた様々な疑問を、家の人と一緒に調べる。

- ・一緒に料理をする。掃除をする。
- ・家の手伝いをして、家族の一員としての自覚をもたせる。
- ・地域の行事に家の人と一緒に参加する。
- ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。



家庭学習の手引き

<4 年生>

目 標 中学年で、自らすすんで家庭学習をする習慣を身に付けよう。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- すすんで学習の準備をする。
- 落ち着いて学習に取り組む。
- ていねいに文字や文章を書き、見直しをして、よりよいものにする。
- 決められた時間内や期間内に課題を仕上げる。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- 文字を正しく読む、書く、使う。
- 四則計算が正しくできる。
- 文中や話の中から、大切なことがらや要点を読み取る、聞き取る。
- 事実をもとに、自分の考えを話す、書く。
- 分からないことを調べる方法が分かる。



学習時間 40～50 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 分からないこと、不思議に思ったことは、自分で調べられるように、機会をつくります。
- ◆ 国語辞典、漢字辞典、地図帳、本、インターネットなど使って、自分で調べる活動を学習の中に取り入れます。
- ◆ 学習して分かったことを分かりやすくまとめる機会をつくります。
- ◆ 今までの学習を基にして新たな課題の解決に取り組むため、今までの学習の復習を繰り返し行います。(漢字や計算など)
- ◆ 自分の考えや思いを、根拠を明確にして話す、書く機会をつくります。
- ◆ 学習に見通しをもたせ、課題解決に向けて計画的に取り組めるようにします。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- テレビを見る、スマホやゲームをするなど、時間を決めて守らせる。
- 学習環境を整える。(机の上や周りの整理整頓、用具の準備など)
- 決まった時間に学習が始められるようにする。
- 学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- 家庭学習(宿題を含む)は時間内に終わられるように、集中して取り組ませる。
- 保護者は児童の傍らにいて学習の様子を見守り、取り組みを励ます、認める。
- 課題を終えたら、見直しや書き直しをさせる。
- 間違いに気付いた時は、すぐに言わずに、課題を終えてから(見直しの時)指摘する。
- 自分で時間割をそろえ、保護者は確認する。
- 朝、持ち物(教科書、宿題、学習用具など)の確認を自分でさせる。
- 自分で学習スタイルを確立できるように促す。(できない時こそ共に話し合い、自分から取り組めるように励ます。到達できそうな目標を考え、できた時は褒める。)

4 年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

- 国語
- ・学習した漢字を復習する。
 - ・日々の出来事について日記を書く。
 - ・すすんで読書をする。(学習に関連する本、気に入った本など)

- 社会
- ・社会でどのようなことが起こっているか、テレビのニュースや新聞を通して知る。
 - ・社会の出来事について家族で話し合う。
 - ・都道府県名や東京 23 区、区市町村名、それぞれの位置を覚える。
 - ・家族で出掛けた時など、自分たちの住む地域との違いについて考えるようにする。



- 算数
- ・反復練習を行い、正確な計算を目指す。
 - ・算数ドリルで復習をするようにする。
 - ・今学習している単元の問題を復習するようにする。



- 理科
- ・植物を育てその生長を観察するようにする。
 - ・野菜を育て収穫した野菜を家族で食べる。
 - ・月や星を観察し、どのように動いているのか確認する。
 - ・日常生活でなぜだろう？ どうしてだろう？ と思ったことを調べてみる。
 - ・プラネタリウムや科学館等に足を運ぶ。



- その他
- ・なわとびやマラソンなどに日常的に取り組む。
 - ・地域の行事に参加し、活動したことを日記や新聞にまとめる。
 - ・日常的に家の手伝いをする。
 - ・メディアリテラシーを身に付け、インターネットを活用して資料作成をする。
 - ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。

家庭学習の手引き

<5 年生>

目 標 高学年で、自学自習の習慣を身に付けよう。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- 毎日、学習する。(休日や祝日も学習する。)
- 学習することを自分で決め、計画的に行う。
- ていねいに文章を書き、見直しをして、よりよいものにする。
- 「何を」「いつまでに」が分かり、期日を守る。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- 文字を正しく読む、書く、使う。
- 苦手な学習を繰り返し行って、確実に身に付ける。
- 文中や話の中から要点を読み取る、聞き取る。
- 事実と意見(考え)を区別して話す、書く。
- 分からないことを調べる方法が分かり、すすんで調べる。



学習時間 50～60 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 自分で課題を決め、国語辞典、漢字辞典、地図帳、本、インターネットなど使って、自分で調べる活動を学習の中に取り入れます。
- ◆ 学習して分かったことを分かりやすくまとめ、発表する機会をつくります。
- ◆ 今までの学習を基にして新たな課題の解決に取り組むため、今までの学習の復習を繰り返し行います。(漢字や計算など)
- ◆ 自分の考えや思いを、根拠を明確にして分かりやすく話す、書く機会をつくります。
- ◆ 友達と共に考えを出し合い、よりよい考えを導き出す機会をつくります。
- ◆ 学習に見通しをもち、課題解決に向けて自主的に計画を立てて、取り組めるようにします。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- テレビを見る、スマホやゲームをする時間を決め、学習環境を整えさせる。
- 学習を始める時刻、学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- 家庭学習(宿題を含む)は時間内に終わられるように、集中して取り組ませる。
- 課題を終えたら、見直しや書き直しをさせる。
- 新聞やニュース番組を一緒に見る。
- 教科学習にとらわれず、自分の興味関心のあることがらを追究できるように支援する。
- 保護者は学習の様子を見守り、取り組みを励ます、認める。やる気を引き出す言葉がけをする。
- 間違いに気付いた時はすぐに言わずに、見直しの時に指摘する。
- 保護者は宿題を定期的に点検し、学習状況を確認する。
- 自分で学習スタイルを確立できるように促す。(できない時こそ共に話し合い、自分から取り組めるように励ます。到達できそうな目標を考え、できた時は褒める。)

5年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

国語

- ・学校であった出来事を作文にしてみる。
- ・学習した内容に関連する書物を読む。
- ・読んだ本の感想を相手に伝えることを意識してまとめる。
- ・習った漢字を辞典で調べ、関連する語句をまとめる。
- ・部首やつくりに着目して、漢字の成り立ちを調べ、まとめる。
- ・前学年までに教わった漢字を使って、熟語しりとりをする。
- ・新聞のコラムを読み、簡潔な文章にまとめる。

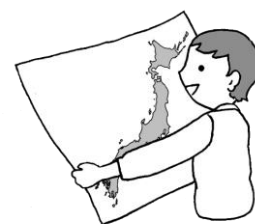


社会

- ・新聞に一日一回は目を通す。時間がないときは、大見出しや見出し、リード文、コラムだけでも最低限読むようにする。(新聞をとっているご家庭)
- ・ニュースを見て、社会事象に関心をもつ。
- ・農業や漁業、食糧生産など、学習した内容について、家族で話題にする。
- ・学習した内容に関連することを本で調べて、ノートにまとめる。
- ・教科書や資料集で、学習した範囲で新聞を書いたり、ノートにまとめたりする。

算数

- ・習い終わった学習の解き方、ポイントをノートにまとめ直す。
- ・間違ったところ、間違いやすいところをまとめる。
- ・前学年、前学期のドリルを復習する。
- ・百マス計算のタイムを計る。
- ・文章題を絵や図で説明する。
- ・オリジナルの問題を作って解く。



理科

- ・学習を進める中で疑問に思ったり、知りたいと思ったりしたことを、自分で調べたり、実験や観察をしてみたりする。
- ・天気の変化や気温に着目して、根拠を明らかにして明日の天気を予想する。
- ・身の回りの植物に着目し、花のつくりと結実の仕方をまとめる。
- ・魚や身近な動物の誕生の仕方に目を向け、受精後の変化の様子を調べる。
- ・砂糖や塩を水に溶かす現象について考える。
- ・太陽や月、星の動きに着目し、地球の自転と公転についてまとめる。

その他

- ・教科書に載っているアルファベット(大文字・小文字)や単語を四線ノートに書く。
- ・身近にあるボールを活用し、つく・投げる・とる・転がす・打つ・けるといった簡単な動きに慣れ親しむ。(回数を増やす・利き手と反対でする・複雑な動きにチャレンジする)
- ・縄跳びや一輪車・竹馬などの器具を使って、全身を動かす運動やバランスを取る運動に遊びながら慣れ親しむ。
- ・身の回りの食物に関心を持ち、テーマを決めて調べる。
(どこの国・地域で生産しているのか。どれくらいの量を消費しているのか。
食料自給率・高齢化問題・農地と環境・環境と食糧問題など)
- ・スーパーに行って食べ物の産地を調べ、日本の自給率との関連をまとめる。
- ・世界の主食や米料理について調べたり、まとめたりする。
- ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。

家庭学習の手引き

<6年生>

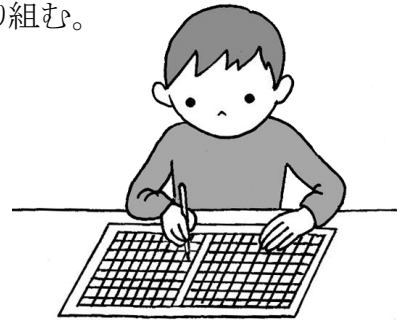
目 標 高学年で、自学自習の習慣を身に付けよう。

めざす姿 (学習に向かう姿勢)

- 自分の予定に合わせて、自分で計画を立てて学習する。
- 自分に必要な学習が分かり、学習内容を選んで取り組む。
- 「何を」「いつまでに」が分かり、期日を守る。
- 必ず宿題を提出する。

(学習内容)

- 文字を正しく読む、書く、使う。
- 苦手な学習を繰り返し行って、確実に身に付ける。
- 文中や話の中から要点を読み取る、聞き取る。
- 事実と意見(考え)を区別して話す、書く。
- 分からないことを調べる方法が分かり、すすんで調べる。



学習時間 60～70 分程度 (10 分×学年を基本として考えます。)

○学校生活では…

- ◆ 自分で課題を決め、国語辞典、漢字辞典、地図帳、本、インターネットなど使って、自分で調べる活動を学習の中に取り入れます。
- ◆ 学習して分かったことを分かりやすくまとめ、発表する機会をつくります。
- ◆ 今までの学習を基にして新たな課題の解決に取り組むため、今までの学習の復習を繰り返し行います。(漢字や計算など)
- ◆ 自分の考えや思いを、根拠を明確にして分かりやすく話す、書く機会をつくります。
- ◆ 友達と共に考えを出し合い、よりよい考えを導き出す機会をつくります。
- ◆ 学習に見通しをもち、課題解決に向けて自主的に計画を立てて、取り組めるようにします。

○家庭では…

以下の点に気を付けて家庭学習に臨んでみてください。

- テレビを見る、スマホやゲームをするなど時間を決め、学習環境を整える。
- 学習を始める時刻、学習する時間(何時何分から何時何分まで)を決める。
- 家庭学習(宿題を含む)は時間内に終わらせるように、集中して取り組ませる。
- 課題を終えたら、見直しや書き直しをさせる。
- 新聞やニュース番組を一緒に見る。
- 教科学習にとらわれず、自分の興味関心のあることがらを追究できるように支援する。
- 保護者は学習の様子を見守り、取り組みを励ます、認める。やる気を引き出す言葉かけをする。
- 間違いに気付いた時はすぐに言わずに、見直しの時に指摘する。
- 保護者は宿題を定期的に点検し、学習状況を確認する。
- 自分で学習スタイルを確立できるように促す。(できない時こそ共に話し合い、自分から取り組めるように励ます。到達できそうな目標を考え、できた時は褒める。)

6年生の家庭学習例

☆宿題の他に、家庭でも取り組める学習内容の例です。参考にしてください。

国語

- ・学校であった出来事を作文にしてみる。
- ・学習した内容に関連する書物を読む。
- ・読んだ本の感想を相手に伝えることを意識してまとめる。
- ・習った漢字を辞典で調べ、関連する語句をまとめる。
- ・部首やつくりに着目して、漢字の成り立ちを調べ、まとめる。
- ・前学年までに教わった漢字を使って、熟語しりとりをする。
- ・新聞のコラムを読み、簡潔な文章にまとめる。



社会

- ・新聞に一日一回は目を通す。時間がないときは、大見出しや見出し、リード文、コラムだけでも最低限読むようにする。(新聞をとっているご家庭)
- ・ニュースを見て、社会事象に関心をもつ。
- ・興味をもった歴史上の人物について深く調べる。
- ・政治のしくみや裁判のしくみについて調べたり、関連する番組を見たりする。
- ・教科書や資料集で、学習した範囲で新聞を書いたり、ノートにまとめたりする。
- ・都道府県の位置と県庁所在地を復習する。

算数

- ・習い終わった学習の解き方、ポイントをノートにまとめる。
- ・間違ったところ、間違いやすいところをまとめ直す。
- ・前学年、前学期のドリルを復習する。
- ・百マス計算のタイムを計る。
- ・文章題を絵や図で説明する。
- ・オリジナルの問題を作って解く。



理科

- ・家庭で植物を育てる、昆虫などの生き物を飼う。
- ・観察記録をつける、飼育条件について調べる。
- ・人の体のつくりとはたらきについて自分なりに調べる。
- ・月の位置や形と太陽の位置、月面の様子などを事典やインターネットで調べる。
- ・電気を利用した道具を調べたり、作ったりする。

その他

- ・教科書に載っているアルファベット(大文字・小文字)や単語を四線ノートに書く。
- ・身近にあるボールを活用し、つく・投げる・とる・転がす・打つ・けるといった簡単な動きに慣れ親しむ。(回数を増やす・利き手と反対でする・複雑な動きにチャレンジする)
- ・縄跳びや一輪車・竹馬などの器具を使って、全身を動かす運動やバランスを取る運動に遊びながら慣れ親しむ。
- ・自然や環境に関する学習を通して興味をもったことを自分なりに調べる。
- ・将来の夢や進学後の生き方について、家族で話し合う。
- ・Chromebook を活用し、「GIGA スクール」の「学習用コンテンツ」や「ミライシード」を活用して教科の復習をしたり、学習を深めたりする。
- ・SDGsの達成に向けて自分にできることを考える。